

がん最新治療法 講演

徳島市でフォーラム 450人参加

県民がんフォーラム（県がん診療連携協議会など主催、徳島大学病院がん診療連携センター、徳島新聞社共催）が6日、徳島市の徳島大蔵本キャンパス大塚講堂であった。「がんとうまく付き合うために」とのテーマで医師ら6人が講演し、市民ら約450人が最新の治療方法などについて理解を深めた。

協議会の荻野広和会長

尾巧院長は、がんと診断さ

れた早期から緩和ケアを受

け、痛みや食欲不振などの

身体的な症状や精神的なつ

らさを和らげることを推奨

し「免疫力が上がり、寿命

を延ばせる」と述べた。

このほか、最新の血液が

んの治療法や支援ロボット

を用いた手術などに関する

講演があった。

（山田優太）



最新のがんの治療や患者をサポートする取り組みが紹介されたフォーラム＝徳島市の徳島大蔵本キャンパス大塚講堂